

INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

# TOKYO IDWR

東京都感染症情報センター

## 東京都感染症週報

2023年第11週  
(3月13日～3月19日)

- \* 2023年3月22日現在の情報により作成しています。  
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。  
<https://survey.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/>
- \* 今週は感染症豆知識「ウイルス感染と胎盤の進化」も掲載  
しています。

令和5年(2023年)3月23日発行

編集・発行

東京都健康安全研究センター  
健康危機管理情報課

電話：03-3363-3213(直通)  
FAX：03-5332-7365  
e-mail：tmiph@section.metro.tokyo.jp

## 全数把握対象疾患 報告数（一類～四類） 2023年11週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		8週	9週	10週	11週	年累計	11週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							
	結核	37	46	36	29	371	186	2,515
	ジフテリア							
	重症急性呼吸器症候群 <sup>*1</sup>							
	中東呼吸器症候群 <sup>*2</sup>							
	鳥インフルエンザ(H5N1)							
	鳥インフルエンザ(H7N9)							
三類	コレラ		1			1		1
	細菌性赤痢		1		1	2	1	6
	腸管出血性大腸菌感染症	1	2	3	1	23	10	188
	腸チフス	1				2	1	13
	パラチフス	1				1	2	5
四類	E型肝炎	9	5	3	8	51	14	121
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎					3	1	15
	エキノコックス症							3
	黄熱							
	オウム病							2
	オムスク出血熱							
	回帰熱							1
	キャサヌル森林病							
	Q熱							
	狂犬病							
	コクシジオイデス症							
	サル痘	5	4	11	7	39	11	45
	ジカウイルス感染症							
	重症熱性血小板減少症候群 <sup>*3</sup>						2	10
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							
	炭疽							
	チクングニア熱						1	1
つつが虫病					4	2	49	
デング熱			1		3		10	
東部ウマ脳炎								
鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)								

\*1 病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

\*2 病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。

\*3 病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		8週	9週	10週	11週	年累計	11週	年累計
四 類	ニパウイルス感染症							
	日本紅斑熱							6
	日本脳炎							
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
	ブルセラ症							
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドラウイルス感染症							
	発しんチフス							
	ボツリヌス症							
	マラリア	1				3		4
	野兔病							
	ライム病							
	リッサウイルス感染症							
	リフトバレー熱							
	類鼻疽							
	レジオネラ症	5	3	3	2	27	18	280
レプトスピラ症							2	
ロッキー山紅斑熱								
2023/3/22集計								

( 全数把握対象疾患のコメント: 一類～五類 )

〈二類感染症〉

**結核 29件** 患者 18件(肺結核 17件、その他の結核 1件)、無症状病原体保有者 11件、年齢は5歳未満 2件、5～9歳 1件、20代 2件、30代 2件、40代 2件、60代 4件、70代 8件、80代 8件、推定感染地は国内 20件、中国 1件、不明 8件であった。

〈三類感染症〉

**細菌性赤痢 1件** 患者、菌種はフレキシネル、年齢は20代、推定感染地はイタリア又はスペイン又はフランス、推定感染経路は不明であった。

**腸管出血性大腸菌感染症 1件** 血清型・毒素型はO26 VT2、推定感染地は国内、推定感染経路は経口感染であった。

〈四類感染症〉

**E型肝炎 8件** 患者 4件、無症状病原体保有者 4件、年齢は20代 3件、50代 2件、80代 3件、推定感染地は国内 5件、韓国 1件、不明 2件、推定感染経路は経口感染 4件、不明 4件であった。

**サル痘 7件** 年齢は30代 3件、40代 4件、推定感染地は国内 7件であった。

**レジオネラ症 2件** 病型は肺炎型 2件、年齢は30代 1件、50代 1件、推定感染地は国内 2件、推定感染経路は水系感染 1件、不明 1件であった。

〈五類感染症〉

**アメーバ赤痢 6件** 病型は腸管 4件、腸管外 1件、腸管及び腸管外 1件、年齢は50代 3件、60代 3件、推定感染地は国内 4件、不明 2件、推定感染経路は同性間性的接触 1件、不明 5件であった。

**ウイルス性肝炎 4件** B型 2件、C型 1件、サイトメガロウイルス 1件、年齢は30代 2件、40代 1件、60代 1件、推定感染地は国内 4件、推定感染経路は性的接触 3件(同性間 1件、性別不明 2件)、不明 1件、B型肝炎ワクチン接種歴は接種なし 1件、不明 3件であった。

## 全数把握対象疾患 報告数（五類） 2023年11週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		8週	9週	10週	11週	年累計	11週	年累計
五 類 (全 数 届 出 )	アメーバ赤痢	1	3	2	6	16	10	106
	ウイルス性肝炎（A型・E型を除く）	1	1	2	4	12	5	52
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	2	2	4	5	48	19	358
	急性弛緩性麻痺（急性灰白髄炎を除く） <sup>*1</sup>					1		9
	急性脳炎 <sup>*2</sup>		1	1		7	6	93
	クリプトスポリジウム症							1
	クロイツフェルト・ヤコブ病					1		27
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	2	4	1	26	11	180
	後天性免疫不全症候群	9	9	5	5	62	12	174
	ジアルジア症					1	1	11
	侵襲性インフルエンザ菌感染症		1		1	4	3	54
	侵襲性髄膜炎菌感染症							2
	侵襲性肺炎球菌感染症	3	4	1	4	36	35	359
	水痘(入院例に限る)		2	1	2	10	5	52
	先天性風しん症候群							
	梅毒	68	75	71	66	764	160	2,846
	播種性クリプトコックス症			1		6	1	38
	破傷風							9
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1	1	1	1	4	2	34
百日咳		1		1	13	8	116	
風しん						2	2	
麻しん					1		1	
薬剤耐性アシネトバクター感染症							5	

2023/3/22集計

\*1 2018年5月1日より追加指定された。

\*2 ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

**カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 5件** 病原菌は*Enterobacter cloacae* 2件、*Escherichia coli* 1件、*Klebsiella aerogenes* 1件、*Klebsiella pneumoniae* 1件、年齢は50代 1件、70代 3件、80代 1件、推定感染地は国内 4件、不明 1件、推定感染経路は以前からの保菌又は医療器具関連感染 1件、不明 4件、90日以内の海外渡航歴は渡航なし 5件であった。

**劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1件** 血清群はB群、年齢は80代、推定感染地は国内、推定感染経路は不明 1件であった。

**後天性免疫不全症候群 5件** AIDS 1件、無症候キャリア 4件、性別は男性 5件、AIDS患者の年齢は50代、無症候キャリアの年齢は20代 3件、40代 1件、推定感染地は国内 3件、タイ 1件、ベトナム 1件、推定感染経路は性的接触 5件(同性間 2件、異性間 3件)であった。

**侵襲性インフルエンザ菌感染症 1件** 血清型は検査未実施、年齢は70代、推定感染地は国内、推定感染経路は不明、ヒブワクチン接種歴は不明であった。

**侵襲性肺炎球菌感染症 4件** 血清型は検査未実施 4件、年齢は5歳未満 1件、50代 1件、60代 1件、90歳以上 1件、推定感染地は国内 3件、不明 1件、推定感染経路はその他 1件、不明 3件、肺炎球菌ワクチン接種歴は13価4回接種済み 1件、接種なし 2件、不明 1件であった。

**水痘(入院例) 2件** 臨床診断例 2件、年齢は20代 1件、40代 1件、推定感染地は国内 2件、推定感染経路は接触感染 1件、不明 1件、水痘ワクチン接種歴は接種なし 2件であった。

**梅毒 66件** 患者 52件(早期顕症梅毒Ⅰ期 31件、早期顕症梅毒Ⅱ期 21件)、無症候梅毒 14件、性別は男性 48件、女性 18件、年齢は20代 25件、30代 14件、40代 14件、50代 11件、60代 2件、推定感染地は国内 63件、不明 3件、推定感染経路は性的接触 66件(同性間 10件、異性間 50件、性別不明 6件)であった。

**バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1件** 遺伝子型はVanB、年齢は70代、推定感染地は国内、推定感染経路は接触感染であった。

**百日咳 1件** 年齢は50代、推定感染地は国内、百日咳含有ワクチン接種歴は不明であった。

※ 第9週該当分として〔五類〕侵襲性肺炎球菌感染症 2件の追加報告があった。  
 ※ 第10週該当分として〔五類〕梅毒 5件、播種性クリプトコックス症 1件の追加報告があった。

# 定点把握対象疾患 報告数 2023年11週

上段: 報告数  
下段: 定点当たり

定点種別	対象疾患	2023年				報告 医療 機関数	定点 医療 機関数
		8週	9週	10週	11週		
小児科	RSウイルス感染症	11 0.04	15 0.06	26 0.10	39 0.15	255	264
	咽頭結膜熱	32 0.12	30 0.12	42 0.16	22 0.09		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	105 0.41	93 0.36	103 0.40	100 0.39		
	感染性胃腸炎	1,464 5.70	1,391 5.37	1,372 5.32	1,277 5.01		
	水痘	11 0.04	12 0.05	13 0.05	37 0.15		
	手足口病	10 0.04	3 0.01	5 0.02	11 0.04		
	伝染性紅斑	2 0.01	4 0.02	4 0.02	2 0.01		
	突発性発しん	42 0.16	48 0.19	47 0.18	61 0.24		
	ヘルパンギーナ		1 0.00	2 0.01	3 0.01		
	流行性耳下腺炎	12 0.05	11 0.04	4 0.02	9 0.04		
	川崎病 <sup>*1</sup>	3 0.01	2 0.01	3 0.01	1 0.00		
	不明発しん症 <sup>*1</sup>	6 0.02	9 0.03	5 0.02	5 0.02		
	インフルエンザ	インフルエンザ <sup>*2</sup>	3,499 8.53	3,436 8.34	4,291 10.44		
眼科	急性出血性結膜炎		1 0.03			38	39
	流行性角結膜炎	3 0.08	3 0.08	3 0.08	6 0.16		
基幹	細菌性髄膜炎 <sup>*3</sup>	2 0.08		2 0.08	1 0.04	24	25
	無菌性髄膜炎		3 0.12	2 0.08	1 0.04		
	マイコプラズマ肺炎		1 0.04				
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)		1 0.04				
	感染性胃腸炎(ロタウイルス) <sup>*4</sup>		1 0.04	2 0.08			
	インフルエンザ入院	11 0.44	18 0.72	19 0.76	12 0.50		
2023/3/22集計							

\*1 不明発しん症、川崎病 は東京都が独自に指定する疾患である。

\*2 鳥インフルエンザを除く。

\*3 インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。

\*4 病原体がロタウイルスであるものに限る。

## ( 今週の注目される定点把握対象疾患 )

- ・ インフルエンザは定点当たり報告数が7.75と減少しています。

## 定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2023年11週

	小児科										
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎	川崎病
～5か月	2			4	1			1			1
6～11か月	1	4	1	38	1	1		6	1		
1歳	8	9	3	123	1	2		34			
2歳	5	2	7	131	3	4		14			
3歳	9	2	9	135	1			2			
4歳	6	2	13	157	1	1		1		2	
5歳	2		11	131	4	1		2		2	
6歳		1	15	133	4	1			1	2	
7歳	1		10	92	3	1	1		1	1	
8歳	1		6	65	4			1		1	
9歳	2		4	52	5		1				
10～14歳	2	1	11	93	7					1	
15～19歳			2	20							
20～29歳		1	8	103	2						
30～39歳											
40～49歳											
50～59歳											
60～69歳											
70～79歳											
80歳以上											
合計	39	22	100	1,277	37	11	2	61	3	9	1
先週比	13	-20	-3	-95	24	6	-2	14	1	5	-2

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。  
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

	小児科	インフルエンザ	眼科			基幹				
	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出 血性結 膜炎	流行性角 結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジ ア肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	インフル エンザ 入院
～5か月		6								
6～11か月		24								1
1歳	1	84								1
2歳	2	114								1
3歳		175								1
4歳		240								
5歳	1	282								
6歳		286								3
7歳		261								1
8歳	1	216								2
9歳		208								
10～14歳		585								
15～19歳		114								1
20～29歳		82								
30～39歳		200		1						1
40～49歳		180				1				
50～59歳		54		1	1					
60～69歳		17		3						
70～79歳		9		1						1
80歳以上		3								
合計	5	3,140		6	1	1				12
先週比		-1,151		3	-1	-1			-2	-7

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。  
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点把握対象疾患 定点医療機関当たり報告数【保健所別】 2023年11週

	小児科										
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎	川崎病
千代田				1.00							
中央区				3.00	0.67						
みなと	0.50		1.00	3.33	0.17	0.33		0.33			
新宿区		0.67	0.17	3.17							
文京				3.00							
台東			0.75	10.75				0.50			
墨田区			1.40	2.60				0.40			
江東区		0.11	0.33	6.89	0.11			0.11			
品川区		0.14	1.29	3.00		0.14		0.14			
目黒区			0.60	5.00				0.20			
大田区		0.38	0.31	8.62	0.31			0.31		0.08	
世田谷	0.56	0.13	0.38	4.69				0.13		0.13	
渋谷区				2.00							
中野区			1.17	6.67				0.67		0.17	
杉並	0.09		0.27	4.09		0.09	0.09		0.09	0.09	
池袋				1.80							
北区			0.71	5.29			0.14	0.14			
荒川区	0.25	0.25	0.25	8.50	0.50			1.25			
板橋区			0.11	3.33				0.11		0.22	
練馬区			0.31	6.08	0.15			0.38			
足立	0.08			5.38				0.23	0.08		
葛飾区			0.50	2.75		0.25					
江戸川	1.33	0.08	0.33	5.67	0.08	0.08		0.08			
八王子市			0.18	8.82	0.18	0.27		0.64			
町田市			0.13	5.50	0.13			0.50			
西多摩	0.13	0.38		2.25							
南多摩			0.11	3.22				0.11			
多摩立川	0.21		0.64	3.50	0.29			0.21			
多摩府中	0.06		0.56	4.00	0.39			0.33	0.06	0.11	0.06
多摩小平	0.23	0.31	0.15	8.62	0.77	0.08		0.38			
島しょ			4.00								
東京都	0.15	0.09	0.39	5.01	0.15	0.04	0.01	0.24	0.01	0.04	0.00

	小児科	インフルエンザ	眼科		基幹					
	不明発しん症	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	インフルエンザ入院
千代田		2.00								
中央区		1.40								
みなと		3.56								
新宿区		2.20		1.00						
文京		5.71		1.00						
台東		3.00								
墨田区		6.50			1.00	1.00				1.00
江東区		5.36								
品川区		7.10								
目黒区		6.75								
大田区		4.43		0.50						
世田谷	0.25	10.12		0.50						2.00
渋谷区		2.29								1.00
中野区		9.80								
杉並		5.76								0.50
池袋		3.00								
北区		10.55								
荒川区		13.00								
板橋区		8.21								
練馬区	0.08	11.76								
足立		4.63								
葛飾区		9.54								
江戸川		7.79								
八王子市		12.44								2.00
町田市		6.69								
西多摩		13.00								
南多摩		4.64								
多摩立川		13.52		0.50						
多摩府中		6.96		0.33						1.50
多摩小平		10.00								
島しょ										

東京都	0.02	7.75		0.16	0.04	0.04				0.50
-----	------	------	--	------	------	------	--	--	--	------



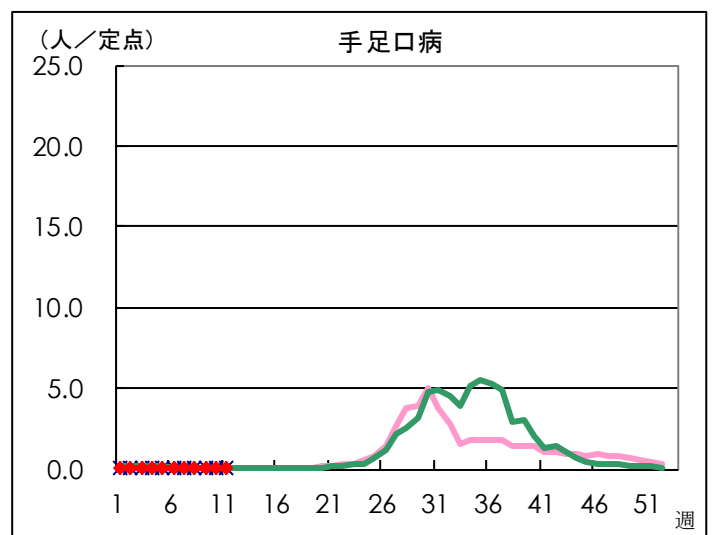
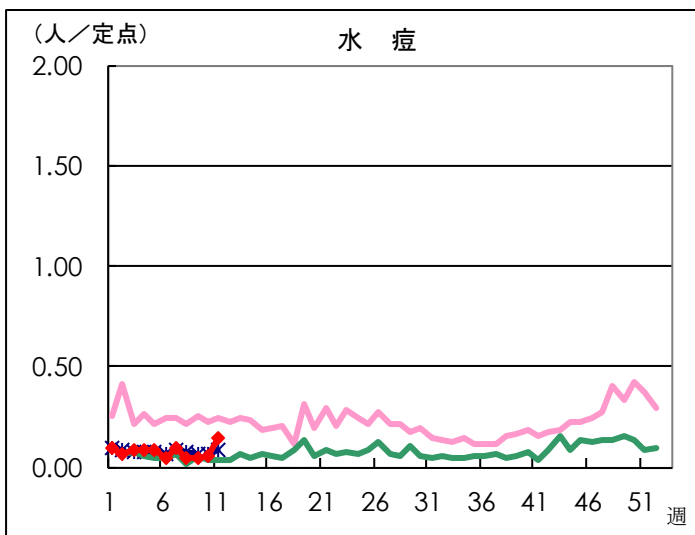
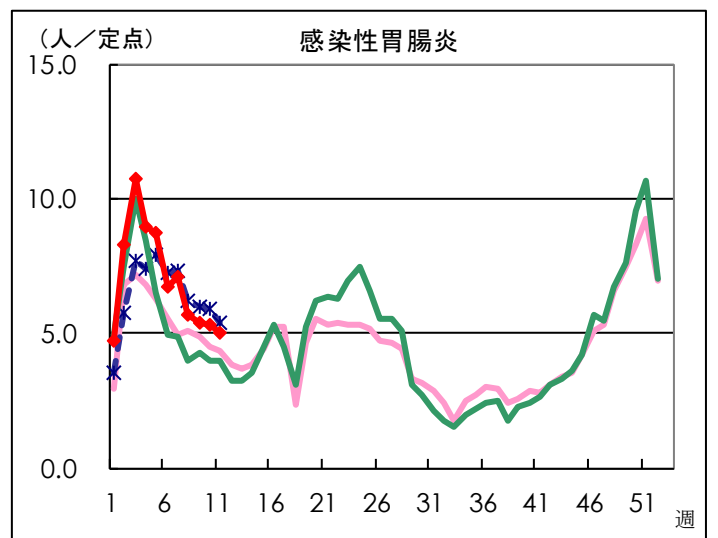
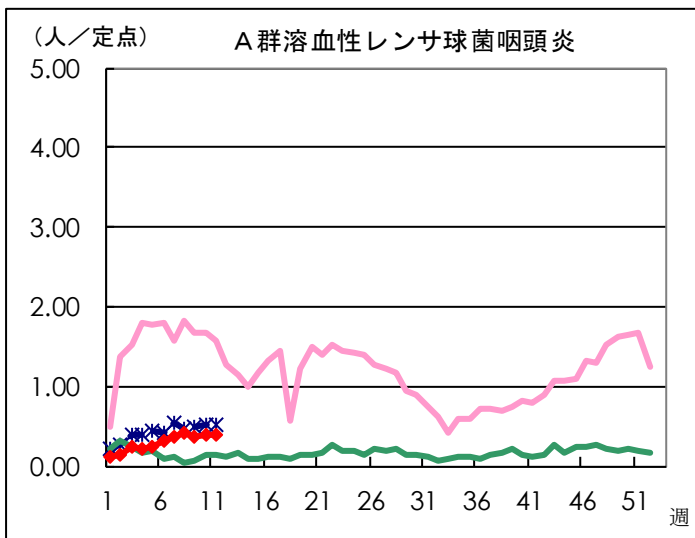
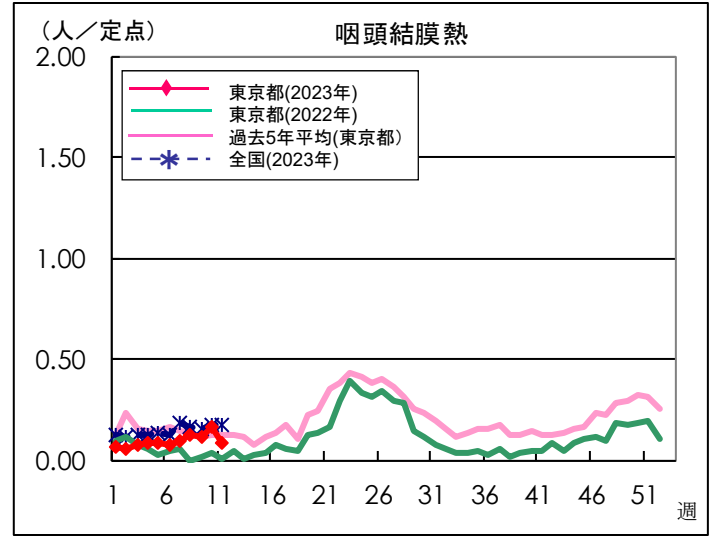
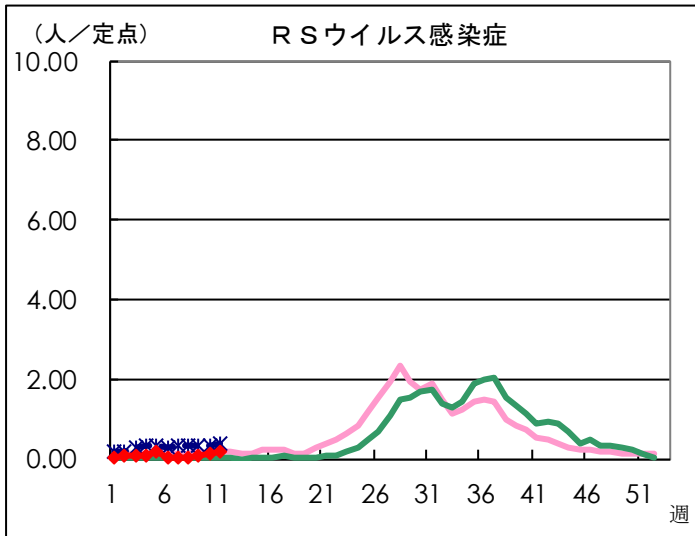
## 定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2023年11週

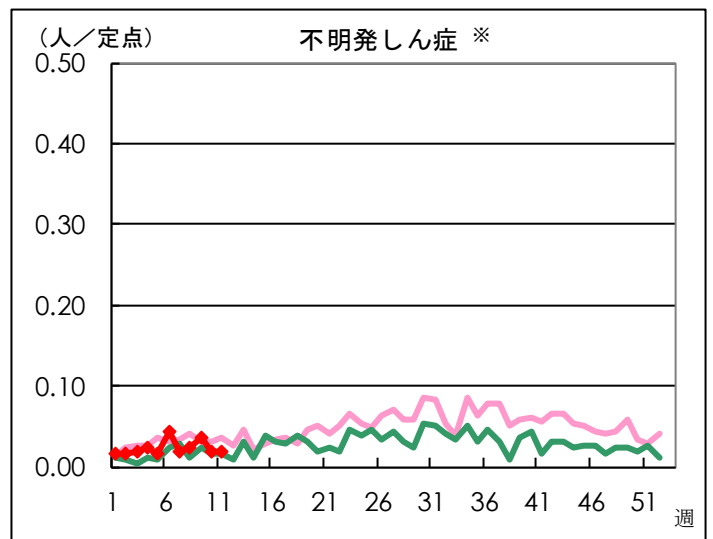
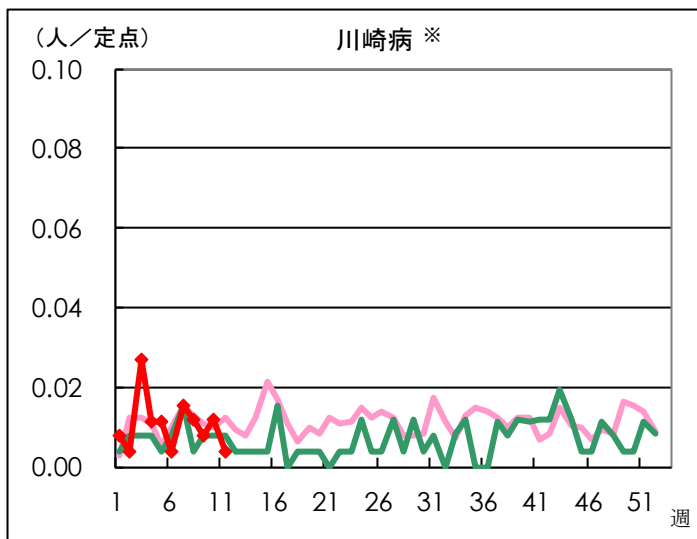
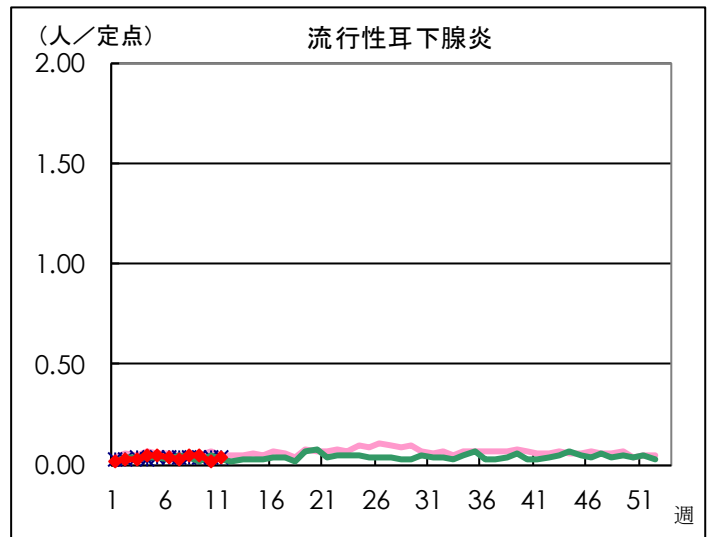
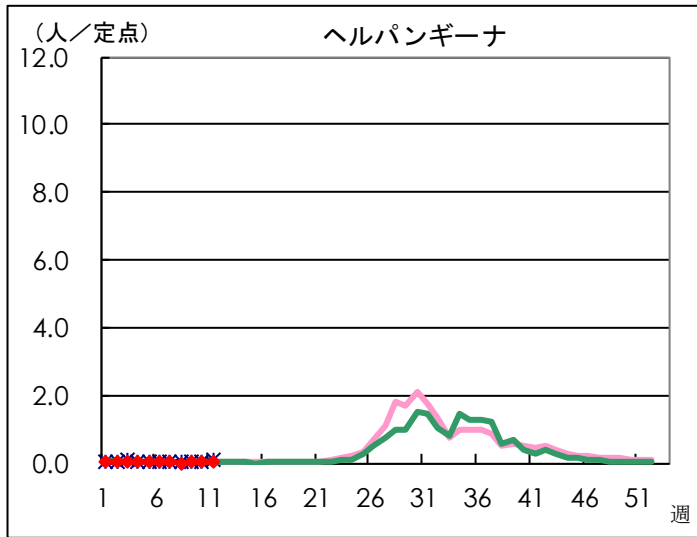
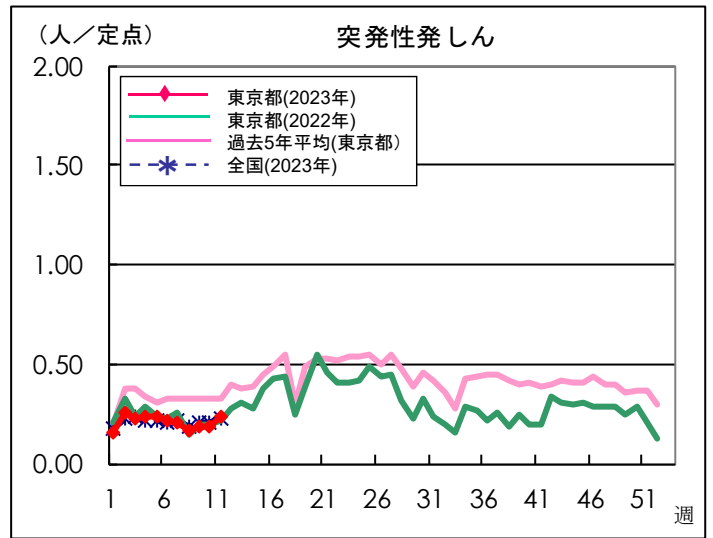
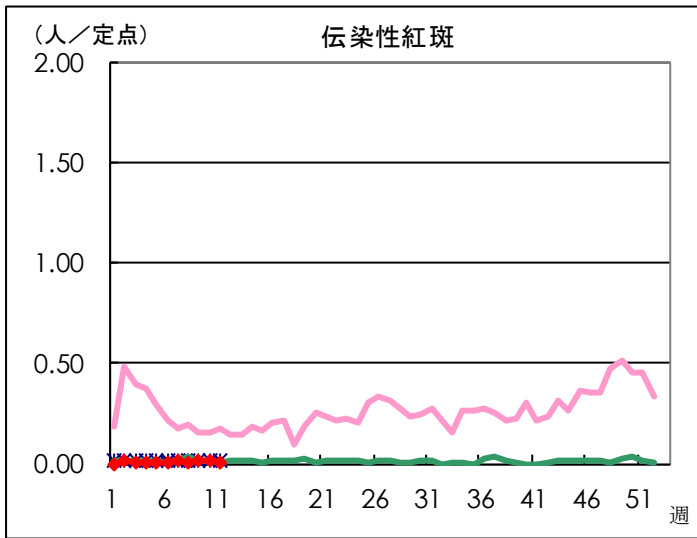
	小児科										
	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎	川崎病
千代田				3							
中央区				9	2						
みなと	3		6	20	1	2		2			
新宿区		4	1	19							
文京				12							
台東			3	43				2			
墨田区			7	13				2			
江東区		1	3	62	1			1			
品川区		1	9	21		1		1			
目黒区			3	25				1			
大田区		5	4	112	4			4		1	
世田谷	9	2	6	75				2		2	
渋谷区				8							
中野区			7	40				4		1	
杉並	1		3	45		1	1		1	1	
池袋				9							
北区			5	37			1	1			
荒川区	1	1	1	34	2			5			
板橋区			1	30				1		2	
練馬区			4	79	2			5			
足立	1			70				3	1		
葛飾区			4	22		2					
江戸川	16	1	4	68	1	1		1			
八王子市			2	97	2	3		7			
町田市			1	44	1			4			
西多摩	1	3		18							
南多摩			1	29				1			
多摩立川	3		9	49	4			3			
多摩府中	1		10	72	7			6	1	2	1
多摩小平	3	4	2	112	10	1		5			
島しょ			4								
東京都合計	39	22	100	1,277	37	11	2	61	3	9	1

	小児科	インフルエンザ	眼科		基幹					
	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジア 肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	インフル エンザ 入院
千代田		8								
中央区		7								
みなと		32								
新宿区		22		1						
文京		40		1						
台東		21								
墨田区		52			1	1				1
江東区		75								
品川区		71								
目黒区		54								
大田区		93		1						
世田谷	4	253		1						4
渋谷区		16								1
中野区		98								
杉並		98								1
池袋		24								
北区		116								
荒川区		91								
板橋区		115								
練馬区	1	247								
足立		88								
葛飾区		124								
江戸川		148								
八王子市		224								2
町田市		87								
西多摩		182								
南多摩		65								
多摩立川		284		1						
多摩府中		195		1						3
多摩小平		210								
島しょ										
東京都合計	5	3,140		6	1	1				12

# 定点把握対象疾患 定点医療機関当たり報告数(2023年11週 現在)

## ◆ 小児科定点

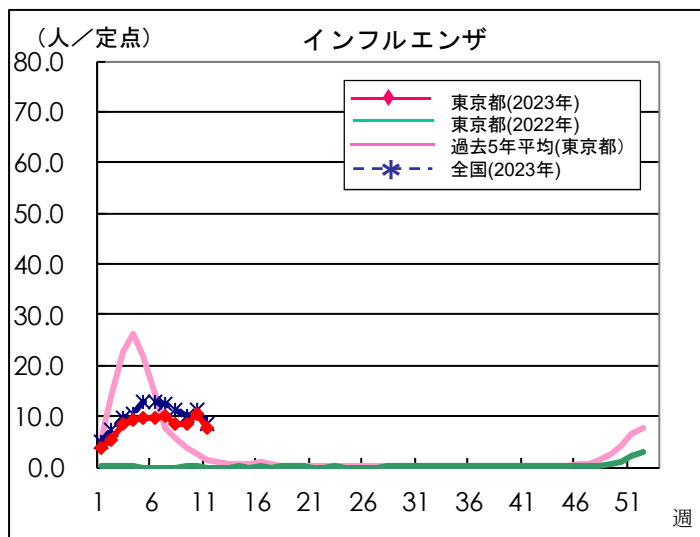




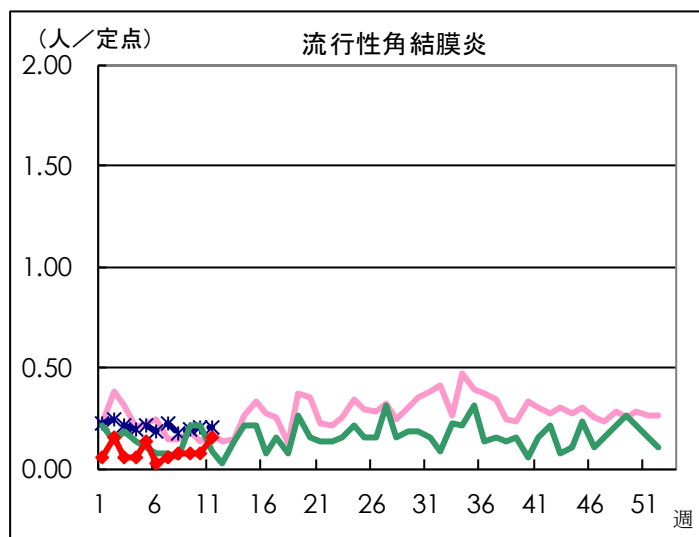
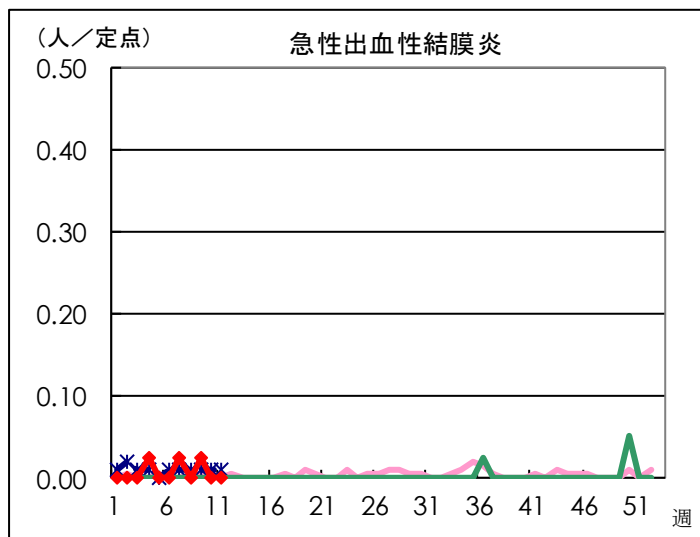
※ 東京都独自対象疾患

※ 東京都独自対象疾患

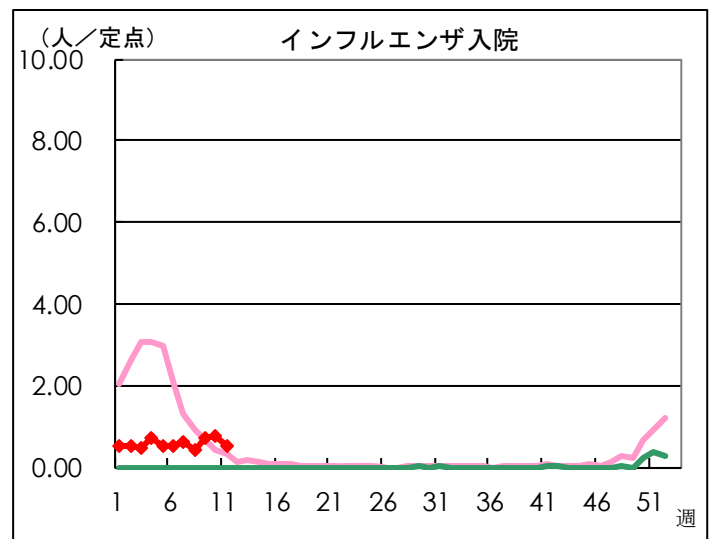
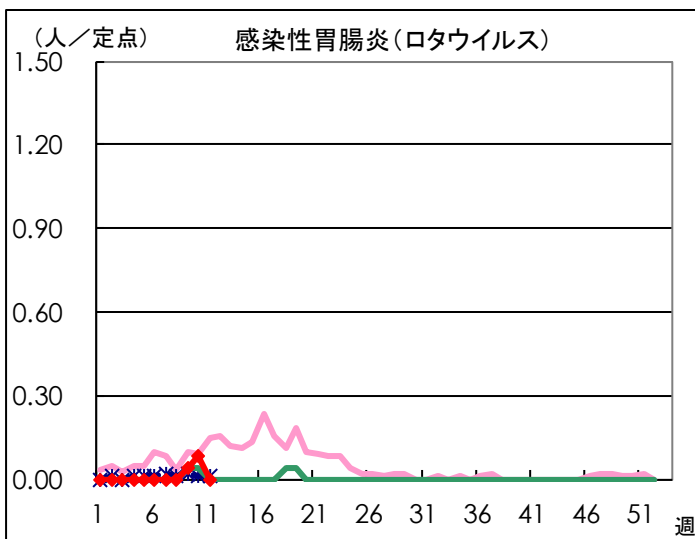
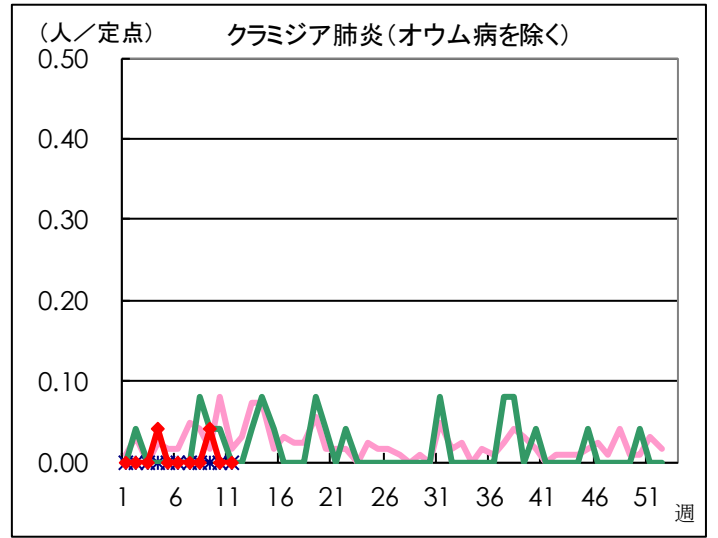
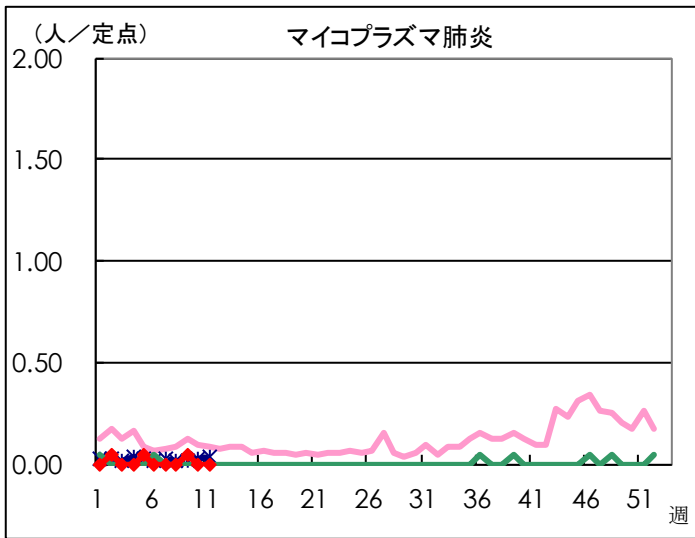
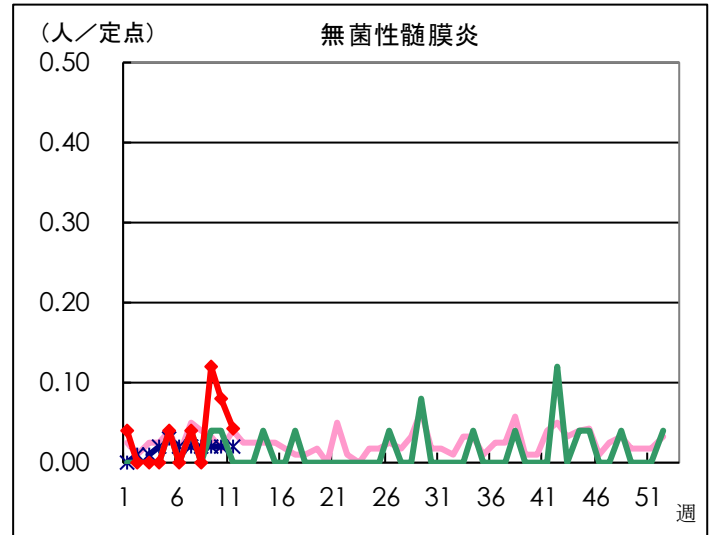
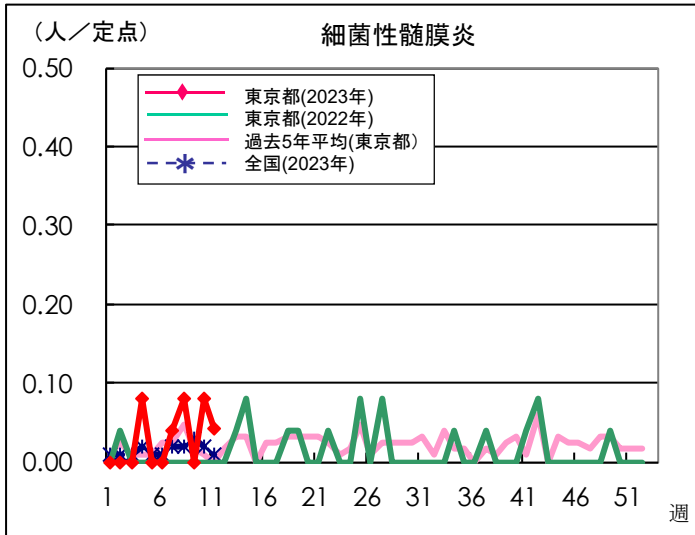
◆ インフルエンザ定点



◆ 眼科定点



◆ 基幹定点



## 定点医療機関から搬入された検体の検査情報

◇病原体検出状況(インフルエンザウイルスを除く)

採取日	臨床診断名	年齢	検査試料	検出病原体
11/7	感染性胃腸炎	1	便	サポウイルス
11/17	感染性胃腸炎	1	直腸拭い液	ノロウイルスGⅡ.4
11/25	感染性胃腸炎	4	便	サポウイルス
11/30	感染性胃腸炎	1	便	アデノウイルス
11/30	感染性胃腸炎	5	便	ノロウイルスGⅡ.4
1/10	感染性胃腸炎	1	直腸拭い液	ノロウイルスGⅡ.4
1/12	感染性胃腸炎	1	便	ノロウイルスGⅡ.4
1/12	感染性胃腸炎	1	便	ノロウイルスGⅡ.4
1/13	感染性胃腸炎	8	直腸拭い液	ノロウイルスGⅡ.4
1/25	感染性胃腸炎	14	便	サポウイルス
1/30	感染性胃腸炎	8M	直腸拭い液	ノロウイルスGⅡ.4
2/27	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5	咽頭拭い液	A群溶血性レンサ球菌T-1型

◇遺伝子検査法によるインフルエンザウイルスの亜型別検出件数

	AH1pdm09	AH3亜型	B型Victoria系統	B型Yamagata系統
2023年9週		3	2	
2022-2023年 シーズン累計*	2	80	3	

\* 2022-2023年シーズンの開始は第36週(2022年9月5日～)

## 病原体検出情報【週別】

検出病原体	2023年							
	02週	03週	04週	05週	06週	07週	08週	09週
アデノウイルス								
コクサッキーウイルスA群						1		
コクサッキーウイルスB群								
エコーウイルス								
エンテロウイルス71								
その他のエンテロウイルス								
ライノウイルス		2			1		1	
ヒトメタニューモウイルス								
単純ヘルペスウイルス								
水痘・帯状疱疹ウイルス								
ヒトヘルペスウイルス6型・7型				1				
EBウイルス								
サイトメガロウイルス								
ムンプスウイルス								
麻疹ウイルス								
麻疹A型(ワクチンタイプ)				1				
風疹ウイルス								
風疹1a型(ワクチンタイプ)								
ヒトパルボウイルスB19								
RSウイルス								
ノロウイルス	1	3		1				
ロタウイルス								
サポウイルス			1					
インフルエンザウイルスAH1pdm09	1							
インフルエンザウイルスAH3亜型	9	9	11	8	8	6	3	3
インフルエンザウイルスB型Victoria系統		1						2
インフルエンザウイルスB型Yamagata系統								
その他のウイルス		2	1					
A群溶血性レンサ球菌T-1型		1			1			1
A群溶血性レンサ球菌T-3型								
A群溶血性レンサ球菌T-4型								
A群溶血性レンサ球菌T-12型								
A群溶血性レンサ球菌T-25型								
A群溶血性レンサ球菌T-28型								
A群溶血性レンサ球菌T-B3264型						2		
A群溶血性レンサ球菌その他のT型								
A群溶血性レンサ球菌T型別不能								
百日咳菌								
肺炎マイコプラズマ								
肺炎クラミジア								
髄膜炎菌								
B群レンサ球菌								
肺炎球菌								
インフルエンザ菌								
黄色ブドウ球菌								
大腸菌								
その他の細菌								
その他の病原体								



# 病原体検出情報【臨床診断名別】

2023年02週～2023年09週

	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	川崎病	不明発疹	インフルエンザ	インフルエンザ様疾患	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	
搬入検体数			5	6		1		2		1	1	5	57	12							
アデノウイルス																					
コクサッキーウイルスA群						1															
コクサッキーウイルスB群																					
エコーウイルス																					
エンテロウイルス71																					
その他のエンテロウイルス																					
ライノウイルス											1	1	2								
ヒトメタニューモウイルス																					
単純ヘルペスウイルス																					
水痘・帯状疱疹ウイルス																					
ヒトヘルペスウイルス6型・7型													1								
EBウイルス																					
サイトメガロウイルス																					
ムンプスウイルス																					
麻疹ウイルス																					
麻疹A型(ワクチンタイプ)													1								
風しんウイルス																					
風しん1a型(ワクチンタイプ)																					
ヒトバルボウイルスB19																					
RSウイルス																					
ノロウイルス				5																	
ロタウイルス																					
サボウイルス				1																	
インフルエンザウイルスAH1pdm09														1							
インフルエンザウイルスAH3亜型														51	6						
インフルエンザウイルスB型Victoria系統														3							
インフルエンザウイルスB型Yamagata系統																					
その他のウイルス														2	1						
A群溶血性レンサ球菌T-1型			3																		
A群溶血性レンサ球菌T-3型																					
A群溶血性レンサ球菌T-4型																					
A群溶血性レンサ球菌T-12型																					
A群溶血性レンサ球菌T-25型																					
A群溶血性レンサ球菌T-28型																					
A群溶血性レンサ球菌T-B3264型			2																		
A群溶血性レンサ球菌その他のT型																					
A群溶血性レンサ球菌T型別不能																					
百日咳菌																					
肺炎マイコプラズマ																					
肺炎クラミジア																					
髄膜炎菌																					
B群レンサ球菌																					
肺炎球菌																					
インフルエンザ菌																					
黄色ブドウ球菌																					
大腸菌																					
その他の細菌																					
その他の病原体																					

## <感染症豆知識>

### ウイルス感染と胎盤の進化

新型コロナウイルスのパンデミックで感染症の恐ろしさを再認識させられたが、一方でウイルス感染が種の進化に大きな役割を果たしたことが知られている。本稿では、その一例である胎盤の進化について述べる。

胎盤は種によって子宮への浸潤度に違いがあり、ヒトの胎盤は子宮に最も深く侵入する血絨毛性胎盤である。胎盤の出現とその後の進化は、内在性レトロウイルス（endogenous retrovirus: ERV）によりもたらされたことが分かっている\*。ウイルスが胎盤の形態を大きく変化させたら、多くの場合は胎盤機能が障害され、その種は絶滅を免れなかったであろう。しかし、奇跡的に胎盤の機能を高めるウイルスが出現した。まず約1億6千万年以上前にPeg10がゲノムに取り込まれ、卵生の単孔類と胎生の有袋類・真獣類の祖先が分岐した。その数千万年後にPeg11が内在化し、有袋類と真獣類が分岐した。

以後は動物種によって異なるが、ヒトにつながる系統では4000万年以上前にSyncytin-2が、その後Syncytin-1が内在化した結果、胎盤の細胞が融合し合胞体性栄養膜が形成された。この巨大な多核細胞は胎盤の最外層に位置し、胎盤関門として機能した。例えば物質交換のコントロールや、MHC分子を発現しないことで母体からの拒絶反応の回避に寄与している。

タンパク質をコードする遺伝子はヒトの全ゲノムの約2%を占めるに過ぎないが、ERVをコードする遺伝子は全ゲノムの8%も存在する。太古の昔にウイルスがERVとしてゲノムに取り込まれることで多くの機能が獲得され、種の進化の一端を担ったと考えられている。胎盤もその例に漏れず、上記ERVが存在しなければ胎生の種は現れず、従って我々人類も出現していなかったことになる。人類と感染症が切っても切れない関係にあることに改めて気づかされる。

\*本稿ではLTR型レトロトランスポゾンもERVに含めた。

(文責 恩賜財団母子愛育会総合母子保健センター愛育病院副院長 山下隆博)